

2019年度  
事業計画書

自 2019年 4月 1日  
至 2020年 3月 31日

公益財団法人日本フットボール協会はフットボールが持つ「個の尊重と共生」という優れた価値を 広く社会に普及し、次世代を担う子供たちの 『生きる力』 を育てるとともに、家族や地域などの多種多様なコミュニティの創造と活性化を図り、社会の発展に寄与することを目的とし、2019 年度に以下の事業を行うものとする。

## 1 : 「小学校授業サポートガイド」の開発と配布

- ・2018 年度までの授業研究・成果をもとに、学校授業用教材としてフットボールに取り組んだことのない先生でもすぐに授業を始めることができるよう、2019 年度版「小学校授業サポートガイド」を開発、約 1,000 校、全国 5,000 人の先生方へ無償で提供する。

## 2 : 小学生向け副読本「作戦ブック」およびフットの製作と寄贈

- ・フットボールの授業を小学生が簡単に理解できるよう、子供用補助教材「作戦ブック」を総計 140,000 人分制作し小学校へ寄贈する。なお、小学校 750 校にはフットを付属（650 校：40 組、100 校：20 組）して寄贈する。

## 3 : 第 10 回フットボール「作戦コンクール」の開催とリニューアルの検討

- ・日本全国の小学校で「子供たちがつくった作戦」を表彰する全国コンクールを開催し、表彰する。
- ・全国の大学やテレビ局、企業との連携も視野にコンクール事業の見直しを行い、リニューアルに向けて検討を行う。

## 4 : 「甲子園ボウル」記念ボールの寄贈

- ・アメリカンフットボールの大学日本一決定戦である「甲子園ボウル」とタイアップし、記念ボールを制作し小学校へ寄贈する。

## 5 : コミュニティ創造やレクリエーションイベントの開催および協力

- ・フットボールチャリティーマッチ「ハドルボウル」の開催、各地での「フットボール教室」の開催など、継続的なレクリエーションの機会の創

出するイベントを企画し、主催、共催、後援、協力を行う。

- ・自治体との拠点およびコミュニティづくり事業として、長野県上伊那郡南箕輪村にて全国交流イベントおよび大会を行う。

## 6：NFL フラッグフットボール日本選手権大会の開催とリニューアル

- ・各地のフラッグフットボールチームの日本一を決定する選手権大会を開催する。
- ・決勝は2019年12月に兵庫県神戸市の王子スタジアムで開催する。
- ・現在実施しているNFLフラッグフットボール日本選手権大会の構造、運営体制、スポンサー等の見直しを行い、2020年度からの新体制に向けて検討を行う。
- ・2020年度からのリニューアルに合わせて、大会Webサイトの刷新も行う。

## 7：公式規則委員会の開催

- ・2020年2月に公式規則委員会を行い、2020年度の公式規則を制定する。

## 8：WEBサイトおよびSNSの運営

- ・WEBサイトやSNSを中心としてフラッグフットボールに関する最新情報やニュースの発信を行う。

## 9：ワールドマスターズゲームズ2021 関西のリハーサル大会の開催

- ・2021年5月に開催されるワールドマスターズゲームズ2021 関西にオープン競技として参加することが決定したことに伴い、リハーサル大会の開催を行う。

## 10：その他目的に資する事業

- ・その他フラッグフットボールが持つ教育的価値・社会的価値によって日本社会に貢献する活動について企画し、実行する。

※ 本事業計画書の制作物の名称、数量等は一部変更になる場合があります。

以上